

# 事業主団体方式による支援展開事例

ポリテクカレッジ小山 産業機械科 長野 修  
 (小山職業能力開発短期大学校)

## 1. はじめに

今回は事業主団体方式による支援展開事例として「小山第二工業団地管理協会」の実践報告をした。この団体は異業種の構成企業からなる団体であった。そこで今回は同業種の団体として栃木県プラスチック工業振興会の実践報告をする。企業訪問には訪問内容を業務日誌と能力開発サービスシートとして記録した。

窓口担当者として信頼を得るために、栃木県プラスチック工業振興会に対し能力開発セミナーなど多くの情報提供をした。一方栃木県プラスチック工業振興会の要望も聞いた。活動の結果として当校で施設見学および講演会を開催することとなった。

これまでの支援の結果、栃木県プラスチック工業振興会において「事業主団体等に対する職業能力開

発のための相談援助」などについて理解を得ることができた。結果として人材高度化支援事業の取り組み要望があった。栃木県プラスチック工業振興会は人材高度化支援事業の認定候補団体となった。

## 2. 栃木県プラスチック工業振興会概要

栃木県プラスチック工業振興会は栃木県県南工業指導所内に事務所がある。67の構成企業と18の賛助会員から成り立っている。事務所所在地は栃木県佐野市であり、当校から30数キロ、自動車でも1時間足らずのところにある。

### 2.1 同業種と異業種の団体

自己啓発支援事業として企業訪問を行う場合、事業主団体方式の団体として同業種、異業種の2種類がある。同業種の団体は、異業種よりも構成企業の情報交換などの役員会や講習会が活発に行われている場合が多く、団体事務局を通じての支援が行いやすい長所がある。一定地域に集団として所在する団体には構成事業主の個別訪問がしやすい長所があるが、専従の職員がいなかったり独立した事務所がないとかで、構成事業主が持ち回りで事務局および事務局長を担当している場合も少なくない。

### 2.2 業務日誌

通常業務日誌は、事業主団体方式通達集に準拠しているが、今回の報告書ではA4のまま掲載すると多量のページ数となるため、以下のように省略した



見学会 栃木県プラスチック工業振興会会員

形で記載した。

平成10年5月22日

【対応者】 県南工業指導所 科学部技師竹沢氏

【当方対応者】 長野・鈴木

【活動経過】 5月20日、窓口担当者として団体への挨拶をするためのアポイントの電話をした。指導所内に金型の団体もあると聞くことができた。

栃木県プラスチック工業振興会に挨拶と能開セミナーパンフレットを渡した。

【相談内容】 今月末に総会があるとの話であったので、そのとき能開セミナーパンフレットを参加団体60社に配ってくれることとなった。

専務理事三田氏が不在のため工業指導所技師竹沢氏にセミナーパンフレットの説明をした。

県南工業指導所を見学した。

平成10年7月1日

【対応者】 栃木県プラスチック工業振興会（以下「工業振興会」という） 三田専務理事

【当方対応者】 長野・芹澤

【活動経過】 6月23日、三田専務理事へ挨拶の電話をした。

専務理事は事務所に常勤していないので7月1日が都合がよいとのことだった。

7月1日、県南工業指導所を訪問し三田専務理事に面会した。専務理事は栃木県職業能力開発協会の検定委員もしているということである。工業振興会では会員数は約70社あり、プラスチック成形技能検定を中心に精力的に活動を行っている。新入社員教育を毎年4日間にわたり実施、他に毎年数回の見学会・講習会を実施している。この新入社員教育に今年度当校卒業生も2名含まれていた。

第8回定期総会議案書および10年度会員名簿をもらった。工業振興会に挨拶とセミナーパンフレットを渡した。

【広報】 当校の説明を申し出たところ、新年会または役員会において、特別講演として事業団・事業概要の講演内容として実施させてもらえる内諾をもらった。

【対応・課題】 能力開発セミナー講座に先端技術的なプラスチック材料・加工法・設計の講座を要望している。CAD関連のセミナーを後期に実施を要望していた。セミナー内容を技能検定の基準に準じて表記してほしいとのことであった。

後期セミナーパンフレットを次回に持参する。

【提供情報】 能開セミナーパンフレット60部持参

平成10年8月26日

【対応者】 工業振興会 和田事務局

【当方対応者】 長野・芹澤

【活動経過】 能開セミナー後期パンフレットを持参し、工業振興会会員企業に広報と受講の依頼をした。和田事務局とは電話では何度も話をしていたが、直接面会するのは初めてであったので、当校の説明および能開セミナーの説明をした。

【対応・課題】 三田専務理事がいるときに改めて訪問する。



栃木県プラスチック工業振興会 池添栄会長

【提供情報】 能開セミナーパンフレット持参

平成10年9月5日

【対応者】 工業振興会 和田事務局

【当方対応者】 長野

【活動経過】 能開セミナー後期パンフレットを持参した。和田さんから次回の役員会が11月10日（火）に決まったと聞いた。そこで工業振興会役員会で広報をさせてもらうよう依頼をした。

「工業振興会事業について」明日から3日間産業ロボット講習会を15,000円で実施する。技能検定の受講者総数は去年98人である。

【対応・課題】 帰校後、開援課長と相談し、管理職の方に事業団や能開セミナーの説明をしてもらうことにしたが、時間は役員会終了前がよいとのことであった。

【提供情報】 能開セミナーパンフレット、定刊誌SUN、AGネット持参

平成10年11月10日

【対応者】 工業振興会 和田事務局および参加団体役員

【当方対応者】 辻開発援助課長・長野

【活動経過】 工業振興会役員会で説明をした。能開セミナーのコースに樹脂に関する講座を設定する要望があった。企画部会で次回役員会を当校で行い、次いで施設見学をしてみてもどうかと要望があった。

【提供情報】 能開セミナーパンフレット、ポリテクカレッジ小山パンフ、定刊誌SUN、AGネット持参

平成10年12月2日

前回訪問時に相談があった「次回役員会を当校で行い、次いで施設見学をしてみてもどうかと要望」について辻課長と炭田氏と相談した。講師謝金については雇用促進センターから利用できることとなった。当日の会議室は3階会議室か視聴覚教室を予定し、昼食の経費も手当てできる予定だと確認した。

工業振興会に電話し留守電に上記趣旨について言い置きし、改めて電話する。



施設見学

平成10年12月4日

【対応者】 工業振興会 和田事務局  
 【当方対応者】 長野  
 【活動経過】 施設見学について打ち合わせをした。  
 【提供情報】 能開セミナーパンフレット，ポリテクカレッジ小山パンフ，定刊誌SUN，AGネット持参

平成11年1月21日

【対応者】 工業振興会 池添栄会長・三田専務理事・和田事務局  
 【当方対応者】 長野  
 【活動経過】 事業主団体活用事業「栃木県プラスチック工業振興会」

1月21日，事務打ち合わせをした。12月末に工業振興会の実施案がFAXで送られてきた。折り返し電話をしたが休みになっていた。1月11日連絡をし打ち合わせをした。謝金等の経費について雇用促進センターの斉藤氏と数回打ち合わせをした。1月4日，雇用促進センターの斉藤さんから助成金の話を15分程度したいとの要望があった。

2月23日に実施予定の施設見学会について打ち合わせをした。雇用促進センターの担当者は斉藤氏である。謝金等の銀行振り込みの受付は15日までで25日に振り込まれる。

視聴覚教室の確保を1月19日にした。立て看板を大司さんをお願いした。

【提供情報】 ポリテクカレッジ全ガイド98，定刊誌SUN持参

平成11年2月17日

【対応者】 工業振興会 三田専務理事・和田事務局  
 【当方対応者】 高中副校長・辻開発援助課長・長野  
 【活動経過】 2月8日，和田事務局から2月23日実施予定の施設見学会について表敬訪問したいと連絡があったので，日程を2月17日とし開発援助課長に報告した。

2月17日に工業振興会の三田専務理事と和田事務局が来校した。高中副校長と面会し，その後出席者の確認や当日の式次第について打ち合わせをした。能力開発セミナーについて新任者研修をオーダーメイドでと話をしたら，三田専務理事



質疑応答

から工業振興会では毎年基礎プラスチック技術講座を行っているとのことであった。その日程の中に，自動制御などの部分を実施してもらえないかとあったが，講習場所や時間の調整が難しいのではないかと考えられる。そのとき施設見学会を実施すれば能開セミナーの受講に弾みがつくのではないかと話があった。

平成11年2月19日

私と芹澤氏で見学会のための資料を50部用意した。内容は式次第，セミナー受講の好事例，雇用促進事業団ガイド，学校案内，求人票，能力開発セミナーパンフレット，SUNである。昼食を発注した。

### 3. 雇用管理研究会

施設見学会や講演会を催すには費用がかかり，この費用をどのようにするかが問題となった。

「事業主団体方式関連通達集」の「講演会に雇用管理研究会等」がありこれを活用した。

当日の式次第については雇用促進センターからの前例雛形をもらい，これを参考に開発援助課長や工業振興会会長や三田専務理事などとの打ち合わせを数回行い，案を作成し決定した。経費については謝金の振り込み口座の確認や受講者数の確認など煩雑であったが，一番難しかったのが講師謝金金額であった。講師の知名度やどこからくるのかなどある程度の相場があるが，規定で決まっているわけではなかったため，雇用促進センターと相談し工業振

興会とも相談し両方の顔を立てながら決めたが、このすり合わせが大変であった。また、そのとき使用した式次第を次に示す。

### 3.1 式次第

小山職業能力開発短期大学校施設見学会および講演会式次第

事業主団体活用事業「栃木県プラスチック工業振興会」雇用管理研究会

#### 1. 開催日時

平成11年2月23日(火)

午前10時30分から午後3時

#### 2. 会場

小山職業能力開発短期大学校 視聴覚教室

#### 3. 主催

小山職業能力開発短期大学校

栃木雇用促進センター

栃木県プラスチック工業振興会

#### 4. 参加対象者

栃木県プラスチック工業振興会会員等

#### 5. 内容等

【午前の部】10時30分から12時35分

司会 長野(小山短大)

(1)小山短大 辻課長挨拶(5分)

(2)小山短大

短大概要および就職について (10分)

能力開発セミナー説明 (10分)

(3)事業主団体等向け助成金の説明

雇用促進センター 斉藤氏(10分)

(4)施設見学 (60分)

(5)昼食をとりながら質疑応答 (30分)

対応者 課長・長野・芹澤

(6)栃木県プラスチック工業振興会長

池添栄 挨拶

【午後の部】午後1時30分から3時

司会 長野

(7)講演会 (60分)

講師紹介 上陸正博(日本GEプラスチック)

プラスチック技術開発の方向と需要拡大の展望

講師 太宰泰造(日本GEプラスチック元米国応用技術研究所所長)

質疑 (30分)

(8)新技術・新製品部会長 鈴木正 挨拶

6. 定員 40名

7. 参加費 無料

### 3.2 能力開発セミナー受講好事例

能力開発セミナー受講好事例として広沢ブラテックを取りあげることとした。そのため広沢ブラテックを訪問し、2月23日に当校で行う施設見学会と講演会の案内をすると同時に、栃木県プラスチック工業振興会の構成企業の方々にそのとき好事例として広沢ブラテック株式会社が能力開発セミナーを受講している内容(資料参照)を伝え承諾を得た。

## 4.まとめ

1年あまりの活動の中で人材高度化支援事業事業主団体として認定される運びとなり大きな成果を得られ、私としてもこの活動経過に大変満足した。

訪問活動の当初は窓口担当者として栃木県プラスチック工業振興会に信頼されるのに苦労した。訪問するたびに手を変え品を変え情報提供を行い、三田専務理事や和田事務局と面識を深めた。訪問し情報提供をすると同時に、こちらで支援できる情報がないか要望を聞いたとき、最新技術の講演をやってほしいとかなり高いハードルを目の前に置かれて苦しんだときもあった。しかし開発援助課の炭田さんと相談したところ、雇用促進センターから雇用管理研究会として経費が捻出できた。準備は当日、芹澤さん大司さんとの共同作業で立て看板や駐車場の設定、来校者の受付、昼食の段取りと一人二役三役と少ない人数で実施した。

見学会の質疑では助成金の説明に質問があった。数日後、栃木県プラスチック工業振興会の要請で雇用促進センターの斉藤氏が訪問し、4月6日の2回目の会議に人材高度化支援事業の候補団体となった。

## 小山職業能力開発短期大学校施設見学会および講演会 能力開発セミナー説明 資料

### 1. 広沢プラテック株式会社

広沢プラテック株式会社はプラスチック工業振興会の会員である。

### 2. 会社概要

広沢プラテックは広沢製作所の関連会社であり、岩瀬町と下館市に工場を持っている従業員数247人である。小山工場は小山第二工業団地のなかでも規模は大きく、洗濯機や冷蔵庫、およびプリンタの部品を製造している。

所在地：小山市大字萱橋652-2

業種：プラスチック成型

製品名：プラスチック成型品

小山工場従業員数：107人

操業時期：72年12月

### 3. 人材育成の課題

金型の技術者を社内で養成するのに数年かかってしまうと相談があった。

### 4. 受講動機

98年8月5日、小山第二工業団地管理協会の



取締役工場長今井利定氏と筆者

役員会において98年度後期の能力開発セミナーの説明をした。そこで取締役工場長今井氏が、当校でこのようなセミナーを実施していることを知って社員を受講させることとなった。

### 5. セミナー受講後の受講者について

技術を学んだことで積極的に取り組むようになった。

### 6. 受講コース

広沢プラテック株式会社は、いままで当校の能力開発セミナー受講がなかったが、後期セミナーを10コースも受講していただいている。

#### 受講コース一覧

98年	10月	機械加工の効率化	白井裕之	
		空気圧制御技術		野中 忍
		機械現場の保全実務（機械編）		静井和幸
11月	11月	自動化技術シリーズ PCによる制御1（導入編）	野中 忍	
		速習3次元CAD講座	新井崇裕	
		現場における問題解決法	早瀬英樹	
12月	12月	自動化技術シリーズ PCによる制御2（応用編）	野中 忍	
		99年	1月 速習3次元CAD/CAM講座	新井崇裕
			2月 自動化シリーズ<自動化機器>	稲葉正己・渡辺 誠
99年	3月	3月 機械加工講座	白井裕之	